



2023年12月期 第1四半期決算 補足説明資料

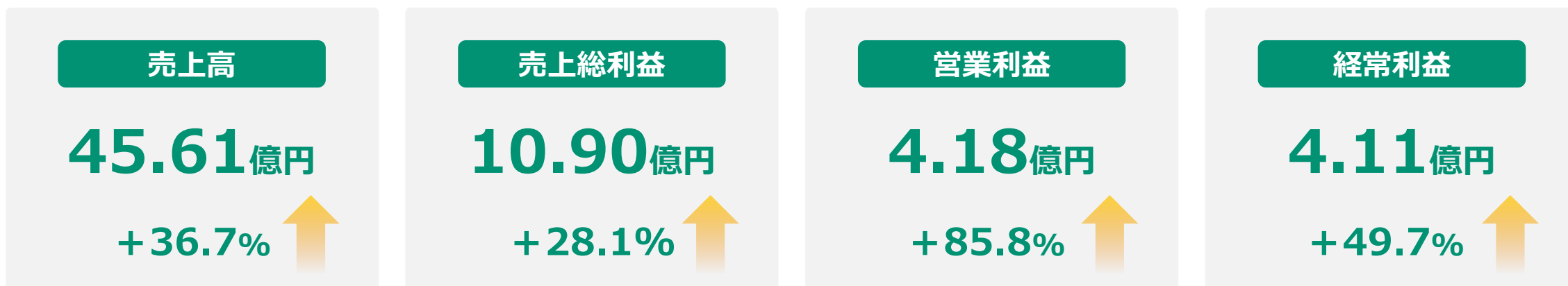
証券コード：3968

2023年5月10日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

ハイライト：業績

デジタルトランスフォーメーション（DX）需要により、ITインフラ製品の販売が好調
売上高、各段階利益ともに四半期単位で過去最高を更新!!

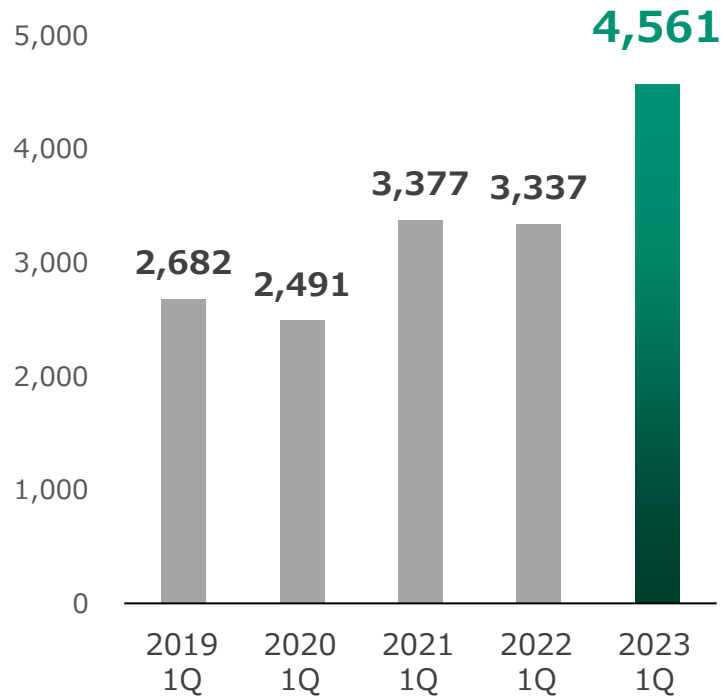


業績概要

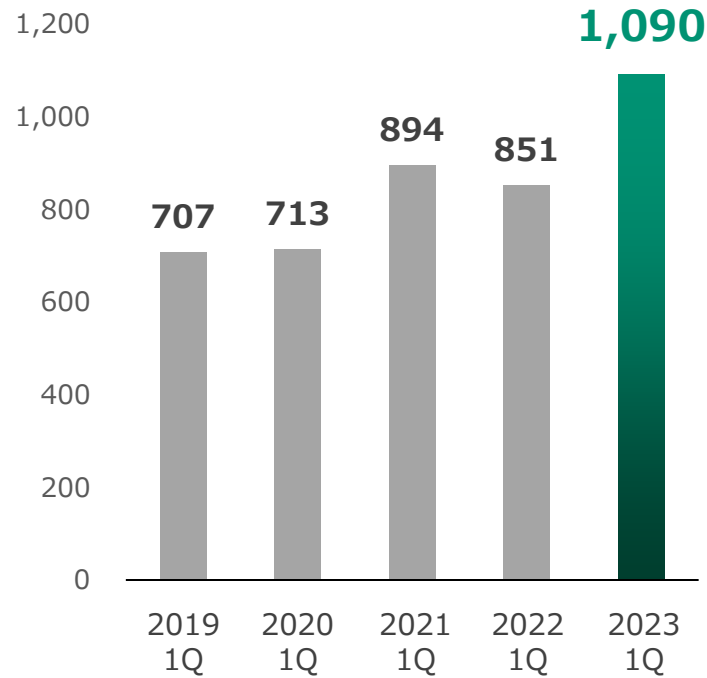
- 売上高：プロダクトの販売及びサービスの提供が好調、大幅増収！
- 販売管理費：新子会社 セグエセキュリティ、タイISS Resolution分が計画通り増加
- 営業利益：売上高及び売上総利益の伸長が牽引し、大幅増加！
- 受注高・受注残：大型案件（学校や通信事業者など）が増え、受注高好調
売上高を大きく伸ばしながらも、受注残も約80億円に増加

ハイライト：業績推移

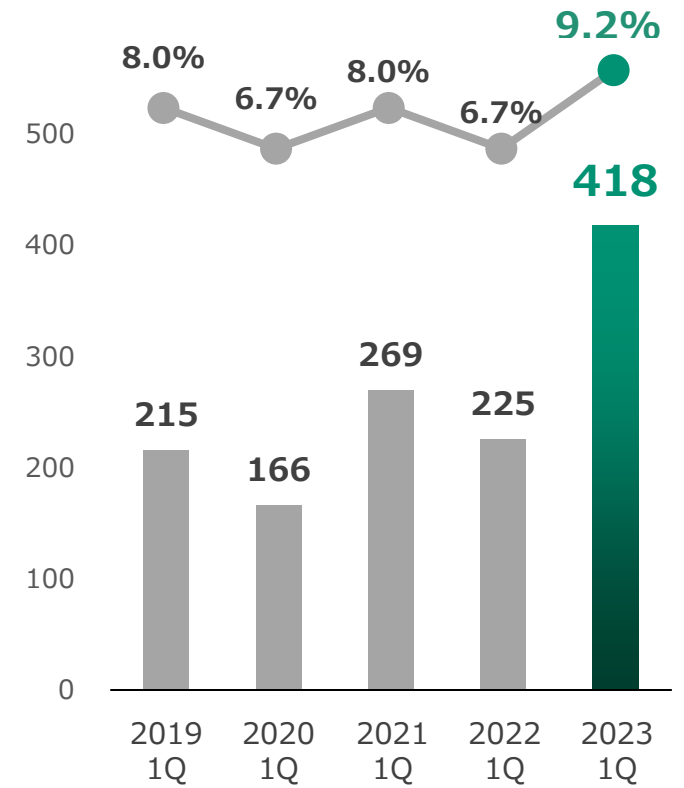
売上高 (百万円)



売上総利益 (百万円)

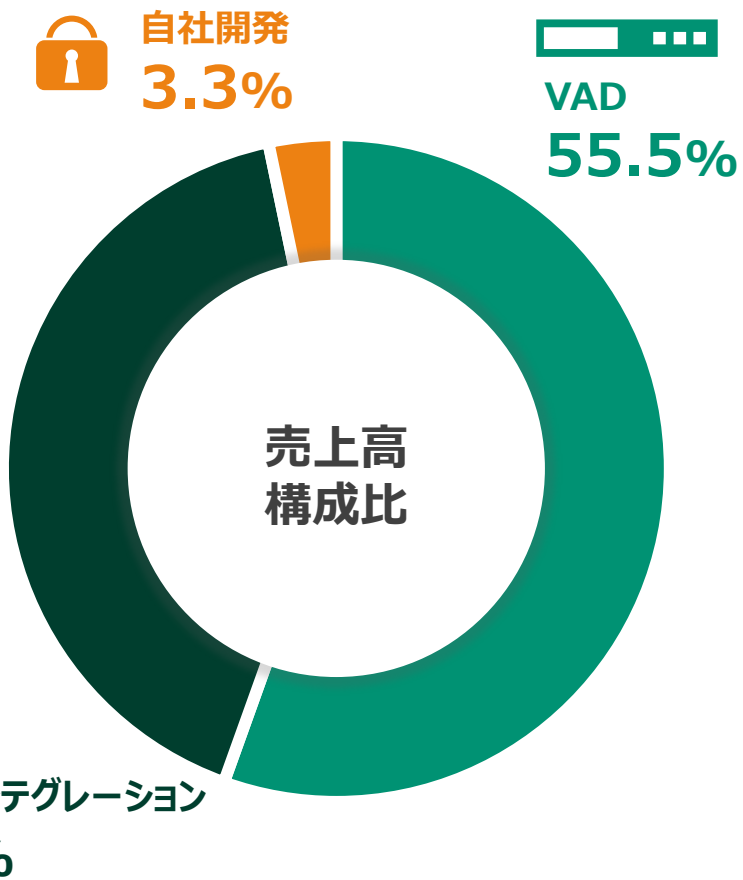


営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)



ハイライト：ビジネス別数値

VADは、ITインフラ製品の販売が絶好調。売上高、売上総利益ともに大きく伸長
 システムインテグレーションは、大型案件の獲得も寄与し、増収増益
 自社開発は、当四半期は減収も、引き続き自治体・官公庁の引き合いは堅調



ビジネス	売上高	売上総利益
VAD ビジネス	25.30億円 (+58.7%)	5.64億円 (+52.8%)
システム インテグレーション ビジネス	18.81億円 (+20.3%)	4.44億円 (+15.5%)
自社開発 ビジネス	1.49億円 (▲17.1%)	0.82億円 (▲15.6%)

■ VADビジネス

- ✓ DX需要によりITインフラ関連のプロダクト売上が大きく伸長
特にJuniper製品の売上は、前年同期比で約2.8倍増加
Juniperから「Japan Distributor of the Year 2022」を受賞（7年連続）
- ✓ 納期遅延の解消が進む

■ システムインテグレーションビジネス

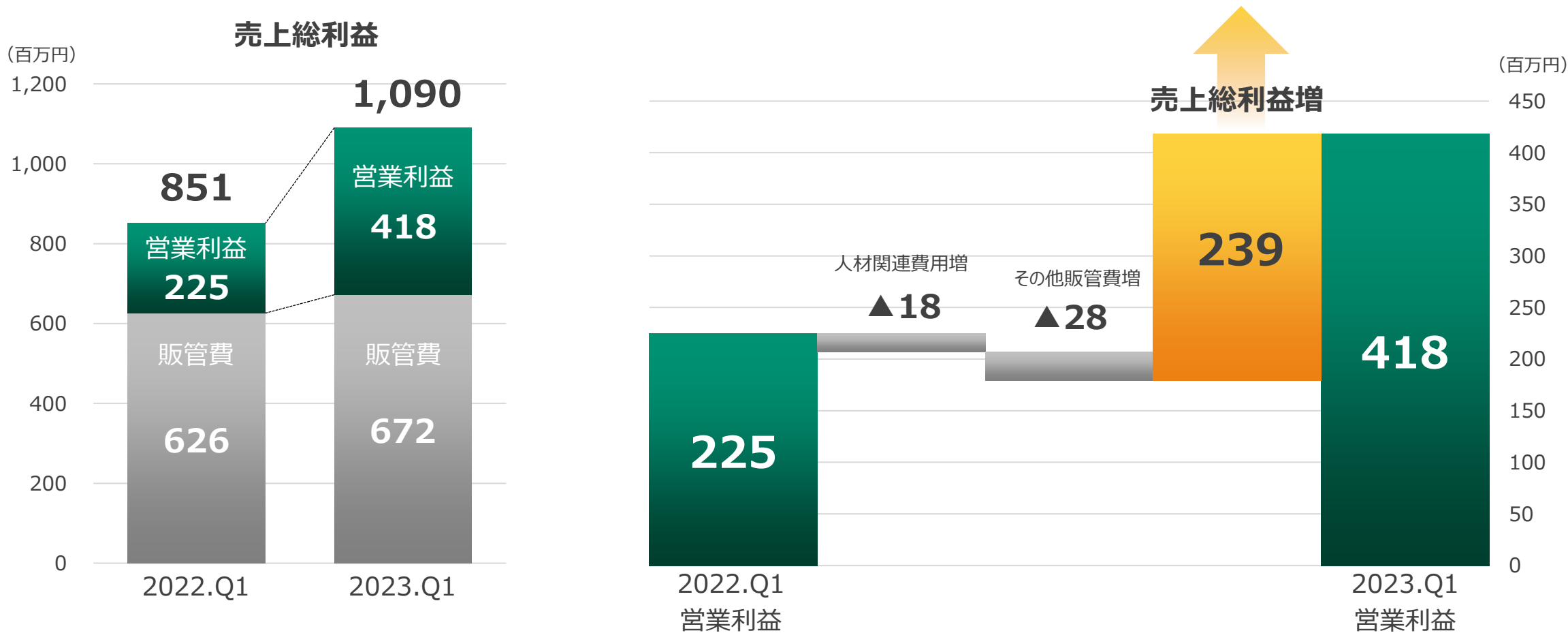
- ✓ 大型案件獲得によりプロフェッショナルサービス（設計及び構築サービス）売上が伸長
- ✓ タイISS Resolutionは、想定通り進捗。新規取組みも検討が進む

■ 自社開発ビジネス

- ✓ 自治体・官公庁向け引き合いは堅調に推移
- ✓ セグエセキュリティは、自社サービスの企画開発が進む

ハイライト：営業利益増減内訳

売上総利益約2.4億円の増益により、営業利益は約2億円の増益!!



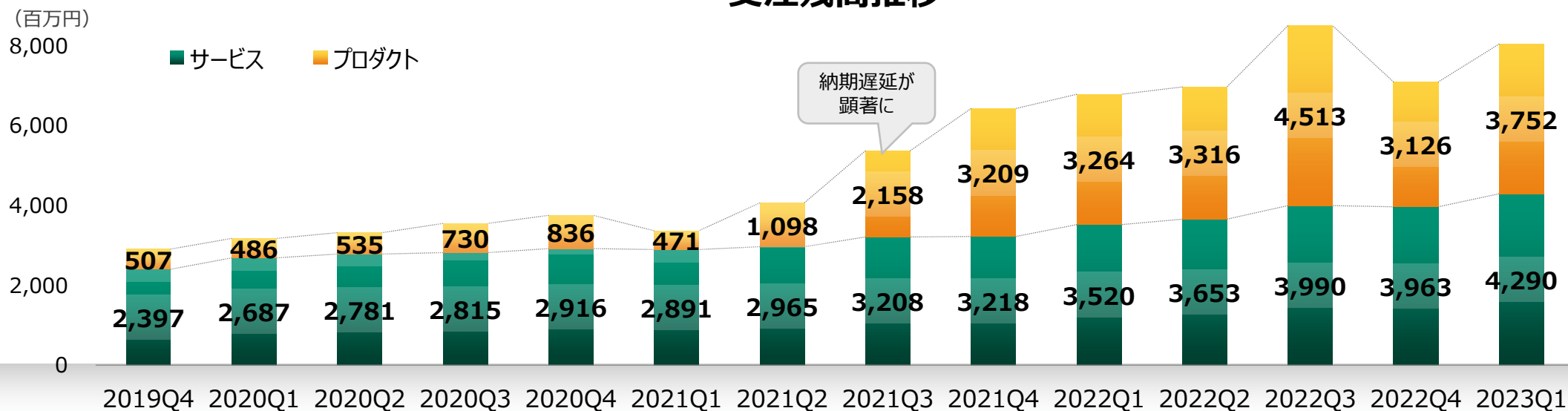
ハイライト：受注の状況

順調な事業活動によりプロダクト、サービスともに受注高が過去最高値!!

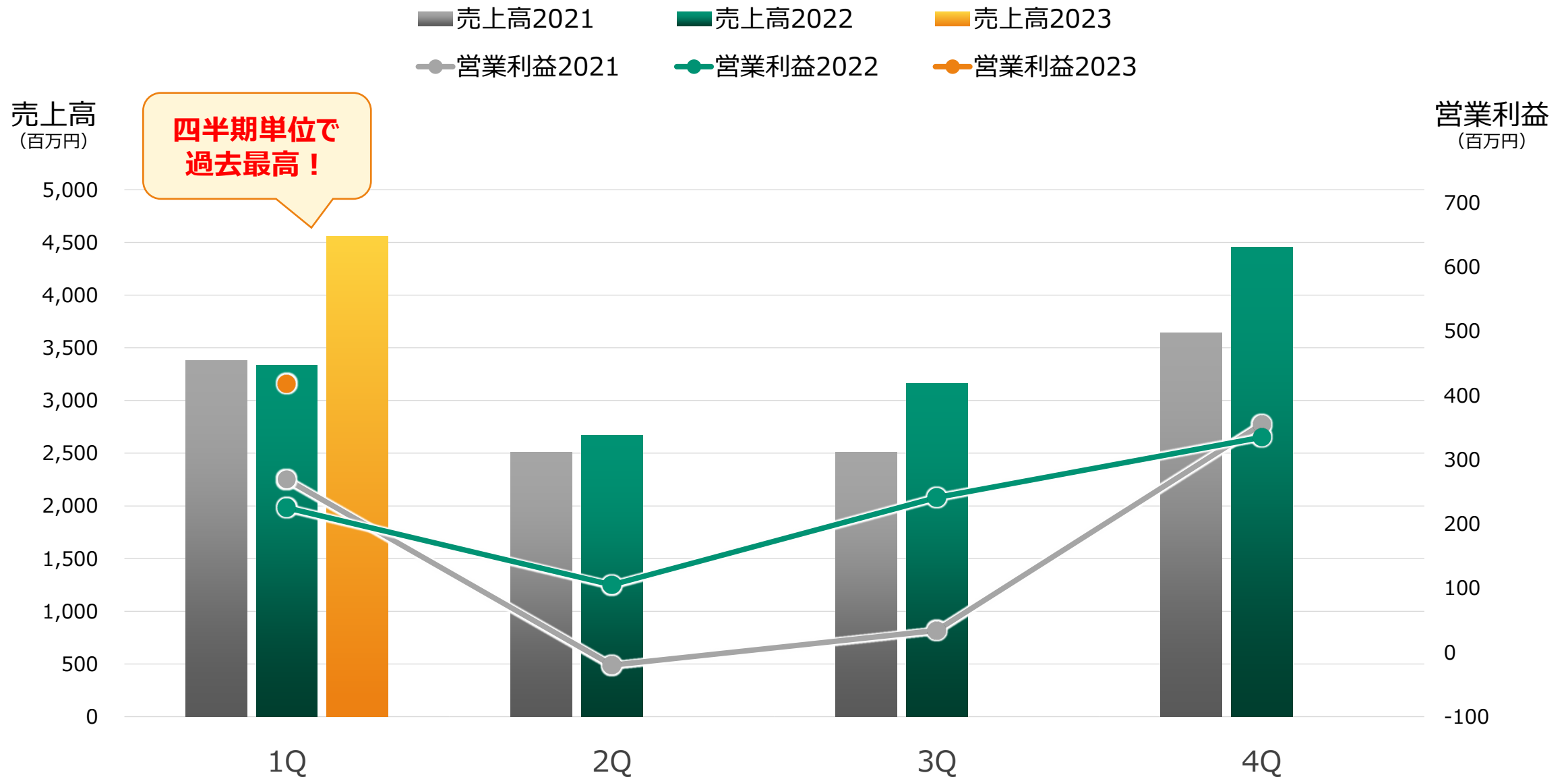
納期遅延の影響は落ち着き、受注残の納品が進む一方、受注の増加により受注残高も増加

	2022.Q4 受注残高	2023.Q1 受注高	昨年同期比 増減率	2023.Q1 受注残高	昨年同期比 増減率
プロダクト	3,126	3,399	+59.2%	3,752	+15.0%
サービス	3,963	2,114	+35.7%	4,290	+21.9%
合計	7,090	5,513	+49.3%	8,042	+18.5%

受注残高推移



ハイライト：四半期業績推移



ハイライト：連結損益計算書

通期計画に対し、非常に好調なスタート

RevoWorksクラウドバージョンの開発、採用強化の継続に加え、新子会社・事業の基盤固めに取り組み、さらには成長加速に資する事業所投資等を推進したうえで、通期計画の達成をはかる

単位：百万円

	2022.12 1Q	2023.12 1Q	前期比		通期計画	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	3,337	4,561	+1,223	+36.7%	15,700	29.1%
売上総利益	851	1,090	+239	+28.1%		
(利益率)	25.5%	23.9%	▲1.6pt			
販売費及び 一般管理費	626	672	+46	+7.4%		
営業利益	225	418	+193	+85.8%	1,000	41.8%
(利益率)	6.7%	9.2%	+2.5pt		5.7%	
経常利益	275	411	+136	+49.7%	1,000	41.2%
(利益率)	8.2%	9.0%	+0.8pt		5.7%	
純利益※	181	277	+96	+53.4%	679	40.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益

ハイライト：連結貸借対照表

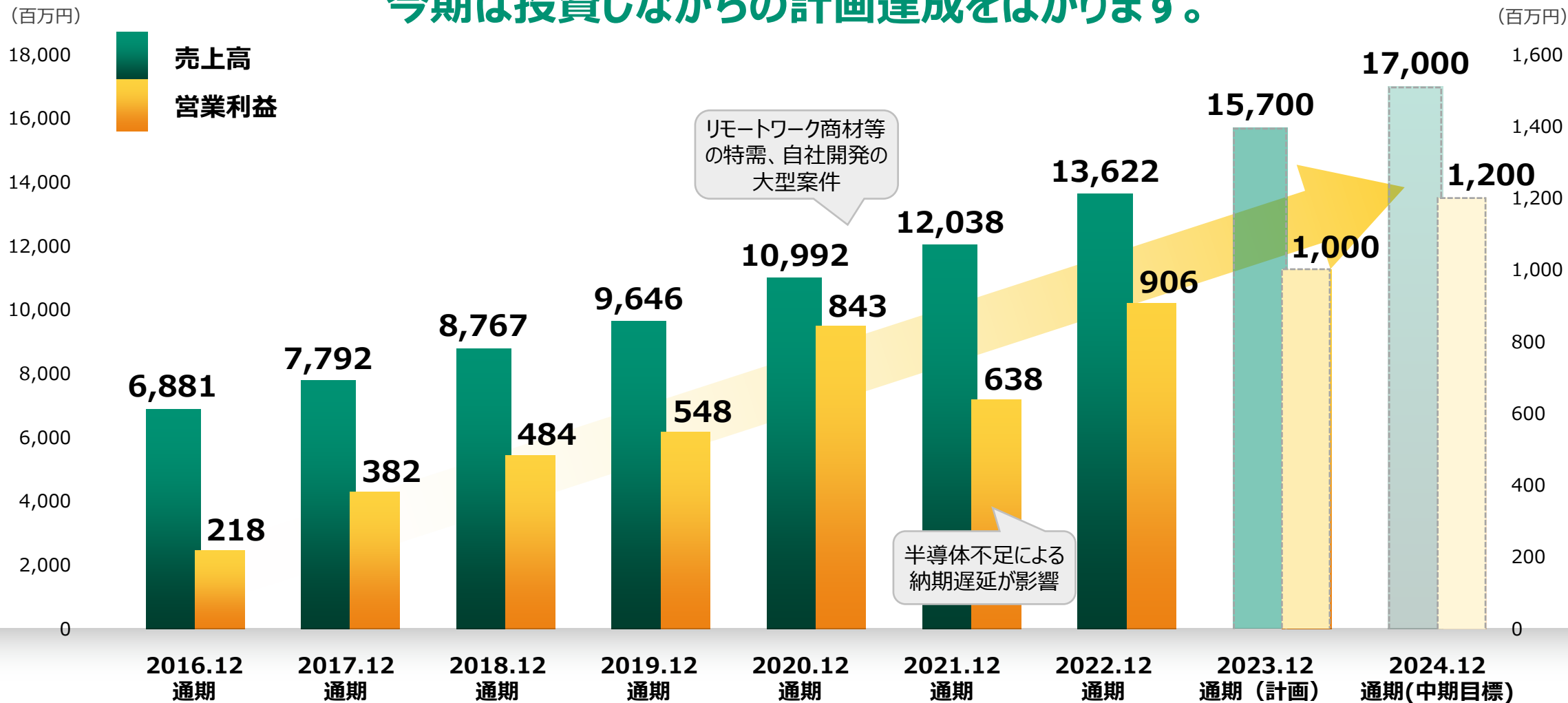
大型案件の受注が増え、プロダクトの確保を進めたことで借入金と棚卸資産が増加
併せて、好調な売上を反映し、売掛金、前受金も大幅増加

単位：百万円

	2022.12 1Q	2022.12 期末	2023.12 1Q
流動資産	8,585	9,975	11,257
現金・預金	2,035	2,989	2,342
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	2,521	2,360	3,478
棚卸資産	2,173	3,103	3,783
その他	1,854	1,521	1,653
固定資産	1,367	1,276	1,290
有形固定資産	209	248	259
無形固定資産	150	258	249
投資その他資産	1,006	770	781
資産合計	9,952	11,252	12,548

	2022.12 1Q	2022.12 期末	2023.12 1Q
流動負債	5,960	6,367	7,644
買掛金	1,151	1,885	2,006
短期借入金等	1,590	287	1,489
前受金	2,642	3,137	3,437
その他	575	1,055	710
固定負債	893	1,200	1,115
負債合計	6,853	7,567	8,760
純資産合計	3,098	3,685	3,788
負債純資産合計	9,952	11,252	12,548

中期目標の達成・超過、その先のさらなる飛躍に向けて、
今期は投資しながらの計画達成をはかります。



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先

セグエグループ株式会社 経営管理部 IR担当

<https://segue-g.jp/ir/contact/>